

1月会長定例記者会見

Q. 新年にあたって

A. (上田会長) 平成が終わり、新しい時代がスタートするこの1年は、NHKにとっても大きな転機となる年となります。その一つが受信料の値下げです。去年11月の経営委員会で、受信料を4.5%程度値下げすることを盛り込んだ現経営計画の修正が執行部の提案どおり議決されました。すでに一部実施している負担軽減策を合わせた受信料の還元規模は422億円ですが、これまでに事業収支差金が400億円を超えたことはありません。つまり、この先しばらくは赤字になるという覚悟を持って臨む値下げとなります。

もう一つは、テレビ放送のインターネット常時同時配信です。去年、総務省の放送をめぐる諸課題に関する検討会は「一定の合理性、妥当性がある」とする報告書をまとめ、自民党の情報通信戦略調査会の小委員会も、今年の通常国会に放送法改正案の提出を目指すとした提言をまとめました。法改正に向けて視聴者・国民のご理解を得るための努力を重ねてまいりたいと思います。

予算と要員が限られる中で“公共メディア”を実現するためには、去年から進めてきた「働き方改革」「地域改革」「グループ経営改革」の3つの業務改革を加速し、経営資源を有効活用していく必要があります。私は年頭あいさつで、年末年始の時期に思い出す大好きな俳句として、高浜虚子の「去年今年 貫く棒の如きもの」という有名な句を紹介しましたが、まさにこの句のように、新しく変化しチャレンジする心と、それと反対に、通底している継続する力、やり通す力、この両方を持って仕事に臨むつもりです。

11月には、私がABU・アジア太平洋放送連合の会長に就任してから初めての総会が東京で開かれます。こうした機会をとらえて、NHKの国際的なプレゼンスをさらに高めていきたいと思っています。

今月25日で会長就任から3年目を迎えます。1年目は「課題抽出と経営計画策定の年」、2年目は「抽出された課題の解決を図る実行の年」と掲げて経営の旗振りをしてきました。3年目の今年は、「実行してきたことを定着させる年」にしたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願いします。

Q. 朝ドラ100作特別番組について

A. (会長) “朝ドラ”の愛称で親しまれている連続テレビ小説が今年4月放送開始の「なつぞら」で100作目の節目を迎えます。

昭和36年4月に始まった“朝ドラ”は、「朝にドラマを見る」という視聴習

慣を生み出しました。女性の一代記という朝ドラの一つのスタイルを確立した昭和41年放送の「おはなはん」、歴代の朝ドラで最高視聴率を記録した昭和58年放送の「おしん」、SNSなどで幅広い世代から支持をいただいた「あまちゃん」など、半世紀以上もの間、みなさまに親しまれてきました。

100作目となる「なつぞら」の放送を前に、「あなたの朝ドラ大特集」を3月29日に総合テレビで放送します。番組MCは、「チョコちゃんに叱られる！」でおなじみの岡村隆史さんとチョコちゃんです。ゲストに、朝ドラのヒロインを務めた方々が出演する予定です。

番組では、「あなたのイチオシ朝ドラ」を特設ホームページ上から募集し、投票結果やドラマにまつわるエピソードを紹介するなど、朝ドラの魅力を多角的にお伝えしていきます。また、「なつぞら」を含めた全100作の概要紹介のほか、各作品のダイジェスト動画を見ることができます。長きにわたる朝ドラの歩みを懐かしんだり、楽しんだりしていただければと思います。

(詳細は報道資料参照)

Q. 世界初！8Kで1000m超の深海を撮影について

A. (会長) BS8Kでは、2月は「自然・絶景」をテーマにした番組を重点的に編成します。2月10日には、8Kではじめて深海撮影に成功した「深海の大絶景 世界初！8Kが見た海底1300mの秘境」を放送します。

深海での8K撮影は、NHKと海洋研究開発機構＝JAMSTECが4年前から進めて来た共同研究です。小笠原沖で海底を撮影し、8Kならではの超高精細映像で深海生物の生態をより詳細に捉えることに成功しました。

8K普及に向けたイベントも開催します。1月13日から始まる大相撲初場所では、渋谷のNHKふれあいホールでパブリックビューイングを実施します。このうち、26日と27日には、大相撲の上映前に8Kクラシックシアター“世界三大オーケストラの響き”をあわせて上映する予定です。

(詳細は報道資料参照)

Q. 第48回番組技術展について

A. (会長) 今年で48回目となる「NHK番組技術展」を来月、開催します。全国の技術職員が、番組制作や送出・送信などの現場で生まれたアイデアをもとに開発した機器や、番組制作・緊急報道を支える新たな取り組みなどをご紹介します。

今年の展示では、人工知能＝AIを活用し、放送したりレポートなどをPR動画用に短く要約するシステムや、クロマキーセットと呼ばれる青や緑の背景セットが不要で、屋外の撮影にも使用できる映像合成システムなどのほか、8K番組「深海の大絶景」の制作で使用した深海用8Kカメラシステムの仕組みや実際の機材なども展示します。

番組技術展は2月11日から13日まで、渋谷の放送センターで開催します。

(詳細は報道資料参照)

(以上)